

目次

創立50周年を迎えて

日本交通技術株式会社 代表取締役社長 桑原 彌介 — 2

われわれが歩んできた50年 — 4

第1章 会社の生い立ちと成長の記録 — 17

コラム1 国鉄大改革からJRに移行するころ 第6代社長 町田 富士夫 — 32

コラム2 本社社屋建築の裏話 第7代社長 岩橋 洋一 — 33

第2章 プロジェクトの軌跡 — 35

第1節 新幹線

- 1 ● 東京駅～新大阪駅間の中心測量・用地測量（東海道新幹線） — 36
- 2 ● 東海道新幹線における構造物の標準設計（東海道新幹線） — 38
- 3 ● 東京駅の構内高架橋設計 他（東海道新幹線） — 40
- 4 ● 品川駅の設計業務（東海道新幹線） — 42
- 5 ● 第3馬淵川橋梁（東北新幹線） — 44
- 6 ● 宮城県沖地震と耐震設計法の変遷（東北新幹線） — 45
- 7 ● 八戸駅～新青森駅間の冬季気象状況調査（東北新幹線） — 46
- 8 ● 第二北上川橋梁（東北新幹線） — 48
- 9 ● 雪に強い上越新幹線－消雪設備の調査設計－（上越新幹線） — 50
- 10 ● 長岡駅の設計（上越新幹線） — 52
- 11 ● 上野地下駅の設計（東北新幹線） — 54
- 12 ● 神田付近の二重高架化（東北新幹線） — 56
- 13 ● 高崎駅～長野駅間の限界状態設計法と新しいラーメン高架橋（北陸新幹線） — 58
- 14 ● 犀川橋梁・裾花川橋梁の設計（北陸新幹線） — 60
- 15 ● 新幹線駅設置における利便性向上を図った在来線移設計画（北陸新幹線） — 62
- 16 ● 新八代駅－新幹線・在来線同一ホーム対面乗り換え－（九州新幹線） — 64
- 17 ● フリーゲージトレイン導入計画－新幹線直通運転化事業調査－ — 66

第2節 JR在来線

- 1●旭川高架(連続立体化事業) — 68
- 2●駅施設整備 - JR 鉄道駅舎 - (駅施設整備) — 70
- 3●ピロンを併用した押し出し架設による
エクストラロードPC鉄道橋の設計(連続立体化事業) — 72
- 4●東京地下駅設計とアンダーピニング(地下駅) — 74
- 5●連続曲線トラス橋 - 夢の島橋梁 - (鉄道橋) — 76
- 6●浜松高架(連続立体化事業) — 77
- 7●中央線三鷹駅～立川駅間事業立体交差化計画(連続立体化事業) — 78
- 8●関門主航路浚渫と山陽本線関門鉄道トンネルへの影響(海底トンネル) — 80
- 9●瀬戸大橋に導入されたユニークな緩衝桁軌道伸縮装置(鉄道・道路併用橋) — 82
- 10●佐世保駅付近の高架化(連続立体化事業) — 84
- 11●関西国際空港連絡橋(鉄道・道路併用橋) — 86
- 12●姫路高架(連続立体化事業) — 88

第3節 民鉄各線

- 1●千葉市都市計画道路との立体交差化(京成電鉄) — 89
- 2●梅島駅～西新井駅間複々線化詳細設計(東武鉄道) — 90
- 3●新百合ヶ丘高架橋(小田急電鉄) — 92
- 4●いずみ野線の調査・設計(相模鉄道) — 94
- 5●常磐新線の設計(つくばエクスプレス) — 96
- 6●中部国際空港連絡鉄道海上連絡橋の設計 — 98
- 7●阪急電鉄の震災復旧設計(阪急電鉄) — 100
- 8●淀川の改修と淀川橋梁の計画・設計(阪神電鉄) — 102
- 9●名古屋線黄金付近高架化(近畿日本鉄道) — 104

第4節 地下鉄

- 1●札幌市営地下鉄余話(札幌市営地下鉄) — 105
- 2●仙台市営地下鉄の施工管理(仙台市営地下鉄) — 106
- 3●東京12号線(大江戸線)の設計(都営地下鉄) — 108
- 4●健全度調査(横浜市営地下鉄) — 110
- 5●名古屋駅の設計とアンダーピニング(名古屋市営地下鉄) — 112
- 6●博多駅の設計とアンダーピニング(福岡市営地下鉄) — 114
- 7●中之島駅の新耐震(神戸市営地下鉄) — 116
- 8●東京7号線(南北線)の設計(営団地下鉄) — 118

第5節 道路

- 1 ● 両大師橋の設計(道路橋) — 119
- 2 ● 曲線ダブルデッキトラス橋の設計(首都高速中央環状線他) — 120
- 3 ● 道路の交通現象解析 — 122
- 4 ● 四谷見附橋架け替えに伴う同橋の移設復元－長池見附橋－(道路橋) — 124
- 5 ● くじら橋の設計(歩道橋) — 126
- 6 ● 田長瀬橋の設計(道路橋) — 128

第3章 海外業務 — 131

- SECTION1 ● 国際部の「これまで」と「これから」 — 132
- SECTION2 ● インドネシア 鉄道プロジェクトの歩み — 138
- SECTION3 ● ベトナム 海外赴任・プロジェクト業務の実態 — 143
- SECTION4 ● ウズベキスタン 海外事業のプロジェクトマネージャー像 — 147

第4章 創立50周年記念座談会 ^{あす}未来に懸ける思い — 153

第5章 部署・社内交流の紹介 — 165

- 部署紹介 総務部 — 166
- 営業部 — 167
- 技術開発部 — 168
- 環境・交通計画部 — 169
- 設計部 — 170
- 鋼構造部 — 171
- 国際部 — 172
- 札幌支店 — 173
- 名古屋支店 — 174
- 大阪支店 — 175
- 九州支店 — 176
- 記念行事 創立記念行事／社内技術発表会 — 177
- 福利厚生 社員寮 — 178
- 社員旅行 — 179
- レクリエーションクラブ — 180
- 本社工屋 — 181

第6章 資料編 — 183

歴代社長紹介 — 184

現役員紹介 — 185

会社の概要 — 186

会社の設立 — 188

経営理念・行動指針・定款 — 189

業務の概要 — 191

社員・組織 — 200

年表 — 204

編集後記 — 223

■ 凡例

- 1.本書の記述は原則として平成20（2008）年7月までとした。
- 2.用字用語は常用漢字、現代仮名遣いによったが、慣用句、専門用語などには、これによらないものがある。
- 3.引用文は原則として原文どおりとした。
- 4.人名、会社名、地名などは、原則として新字体を用いた。
- 5.原則として人名、会社名は敬称を略し、役職名は記述当時のものとした。
- 6.年号表記は主として和暦を用い、西暦を併記した。
- 7.原則として会社名・団体名は当時の名称を用いた。